

MUIC Kansai、リバネスと連携し「IDEA BANK Entre-Cross Program」を始動 —学生の社会課題解決への挑戦を支援—

2026年9月9日

京都中央信用金庫（理事長：植村 幸弘、以下「当金庫」という）は、一般社団法人関西イノベーションセンター（専務理事：撰 裕宜、以下「MUIC Kansai」という）および株式会社リバネス（代表取締役社長 CCO：井上 浄、以下「リバネス」という）と連携し、大学生・大学院生・高等専門学校生を対象とした若手人材育成プログラム「IDEA BANK Entre-Cross Program」を開始しました。

当金庫は昨年度より、京都府や大学と連携し、次代を担う起業家の育成およびアントレプレナーシップの醸成を目的とした学生プログラム「IDEA BANK」を展開しています。これまで、伝統産業や食など京都ならではのテーマを題材に、アイデアソンや学生ビジネスコンテストなどを実施し、学生が地域・社会の課題に向き合い、自らのアイデアを具体化する機会を提供してきました。

このたび開始する「IDEA BANK Entre-Cross Program」は、昨年度からの「IDEA BANK」の取り組みを発展させるものです。学生が持つ研究、技術、アイデア、問題意識を構想にとどめず、企業、地域、行政などとの接点の中で実践へ移すことを目指します。採択者には活動費を支援するとともに、全4回のゼミ、ポスター発表、成果発表会などを通じて、構想の具体化と仮説検証を伴走支援します。

今年度は、関西圏から24件の応募があり、厳正な選考の結果、医療・ヘルスケア、創薬・バイオ、AI・デジタル、サステナビリティなど、多様な分野に関心を持つ学生10名を採択しました。2026年8月19日（水）に実施した第1回ゼミでは、採択された学生によるアイデア発表の後、当金庫、MUIC Kansai、リバネスの担当者との意見交換を行いました。

当金庫が開設した共創施設「KYOTO CENTCROSS」を活動拠点とし、学生の挑戦を支援してまいります。

以上



記者会見の様子



第1回目ゼミの様子